



岐阜大学総合情報メディアセンター
生涯学習システム開発研究部門 准教授

益川 浩一

キャリアセンター副センター長。地域連携室員。岐阜県の生涯学習社会教育政策監を兼務。岐阜県の「地域づくり型生涯学習モデル事業」に取り組んでいる。

岐阜大学工学部
社会基盤工学科 教授

高木 朗義

社会資本アセットマネジメント技術研究センター長。岐阜県都市建築・県土整備政策監。専門は、道路や河川などのインフラ（社会基盤）計画および地域計画、防災計画。

人と大学と地域が、つながる。 知が循環する社会へ。

孤立化・個別化した生活が広がり続け、顔の見えるコミュニティづくりが求められている今。岐阜大学では、地域、行政、企業、大学がひとつになって地域活性化をめざす取り組みを推進しています。研究室を飛び出し、地域と密にコミュニケーションをとりながら、まちづくりに取り組む高木教授と益川准教授に、「つながる」ことの大切さをテーマにお話を伺いました。



「大学で集約・蓄積した「知」はどのように地域に還元されていますか？」

高木 「地域のインフラは地域で守る。をコンセプトに、産官学連携でインフラの整備・管理のリカレント教育を行っています。受講者は社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)として認証。平常時の維持管理のみならず万が一の災害時の復旧でもその力は発揮されます。」

益川 岐阜県の「地域づくり型生涯学習モデル事業」では、地域の方がワークショップなどで課題を発見し、解決のために学習し、取り組みを実践しています。ここに学生が加わり、若い人ならではの新鮮な意見を届けています。見方を変えるだけでマイナスがプラスに変わるものが岐阜にはたくさんあります。大学としても、こうした学生の自主的な活動はどんな支援していきたいですね。」

まちづくりを牽引する 現役岐阜大学生と卒業生。

GIDAI RECOMMEND

メディアムスローな
ライフスタイルを
提案中。



岐阜大学地域科学部
足立 真由さん (4年生)

【主な活動】
関市のまちづくりNPOぶうめらんでボランティアスタッフとして、地域の情報を載せたフリーペーパーの編集や地域活性化のイベントの運営に携わっています。

この古い倉庫では
なにやら面白いこ
とをやっている。



やながせ倉庫管理人
上田 哲司さん (1984年卒業)

【主な活動】
柳ヶ瀬商店街のはずれにある、祖父の代からの雑居ビルを改装し、「やながせ倉庫」という商業施設を管理運営しています。近所の店主たちと、手づくり市「小さなクラフト展」を開催したり、ビルの屋上で素人養蜂をしたりして、店主たちのゆるやかな連携を模索しています。

コミュニケーション
の大切さを伝えて
います。



アナウンサー、大学講師
浅井 彰子さん (2003年修了)

【主な活動】
ラジオ、司会、朗読などのアナウンスの仕事も、発達心理学や障がい福祉分野の活動も、コミュニケーションが共通のキーワード。「声は人なり」をモットーに。※写真提供/中日新聞社

名古屋大学大学院環境学研究所
都市環境学専攻 研究員
剣持 千歩さん (1995年卒業)

【主な活動】
「あなたの選択が地球をgreenにする」を合言葉に、自分たちの手で社会を変えようという取組 green project を2008年より実践しています。(green project 事務局プロジェクトマネジャー)

主体性をもって
住民とともに
実践的に学ぶ。



岐阜大学
教育学部生涯教育課程
田中 未恭さん (4年生)

【主な活動】
「生涯教育システム研究セミナー」というゼミで学んでいます。ゼミでは、それぞれが興味のあるテーマに沿って研究を進めており、私は「まちづくりと生涯学習」をテーマとして取り上げ研究をしています。また、岐阜県で行われている「地域づくり型生涯学習」モデル事業にも参加し、実践的な学びも進めています。

落語披露の場は
地域住民の憩いの
場としても。



岐阜大学落語研究会
岩田 典子さん (3年生)

【主な活動】
地域の方々を対象として落語や漫才の自主公演や他大学との合同公演を行っています。また、老人クラブや介護施設、婦人会、公民館などから依頼を受け、出張寄席も行っています。

公私ともに
「まちづくり」に
奔走中です。



郡上市役所市長公室企画課
地域振興担当
松原 恵美さん (2004年修了)

【主な活動】
公務として、人材育成のための郡上講座、交流・移住推進事業、CATV情報番組等を担当。プライベートで大乗寺朝顔市等の歴史文化を生かす活動に関わっています。

そこに住むひと
自らの手で変える
ことが大切。

